

令和 6 年度 副区長総括 要旨

皆さんこんにちは。副区長の中村です。まず 3 地区の皆さん、発表本当にお疲れ様でした。今日のプレゼンをするまでもに相当な準備が必要だったと思いますし、何より発表の内容にあった、地域での取り組みをしていただいていること、この場をお借りしまして敬意と感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。どの地区の皆さんも世田谷区の地域包括ケア、区長から冒頭お話しありましたとおり、10 年経っていて、10 年間の取り組みがここまで充実したということを実感できるものだったと思います。素晴らしい内容です。

まず初めの上町地区ですけれども、発表のあったアクション講座ですね。これ厚生労働省に言わせると、認知症サポーター養成講座というんですよね。でもこれを上町地区の皆さんは机上の講座にとどまらず、また集まった方だけの講座にとどまらずに、3 つのアクションチームの誕生につなげたということ、素晴らしい実践だと思っています。ぜひ、この取り組みを定着させて発展していければと思いますし、ぜひ横展開を期待したいと思います。

松沢地区ですが、福祉の相談窓口の PR をしていただいて、この窓口は例えば親の介護とか、身近な困りごとがないとなかなか接点がないですし、その認知度というのが課題になっていると思います。特に若い世代の方には接点が少なく、その点、若い世代の方も参加する避難所運営訓練、またユニークなトイレトパーパーを配布するというので、とても面白いユニークな取り組みだと思いました。またデジタルポイント歩こう会、これはデジタルポイントラリーをうまく活用していただいて、ぜひこれも横展開があったら面白いなと思いました。

用賀地区ではぼーとの方も登壇していただきました。ありがとうございます。こうした地区の取り組み、様々な地区で強化をしていますけれども、登壇していただいたのは本当にハッとしましたし、障害のある方を含めて誰一人取り残さないという、地域包括ケアの地区展開の進化系だと思いました。本当にいい取り組みだと思いました。

今日発表いただいた皆さんの取り組みについて、これは住み慣れた地域で誰もが安心して住み続けたいという、地域の皆さんの願いを実現するまちづくりのためには、世田谷区の財産になるものだと確信しています。今後とも私たちも地域地区の皆さんの取り組み、全面的にバックアップすることをお約束するとともに本日発表していただいた方々、また本日ご来場いただき、日々地域・地区でまちづくりに取り組んでいる皆様に、改めてお礼を申し上げて本日の総括にさせていただきます。

本当にどうもありがとうございました。